

## 1. くじゅう坊ガツル湿原<sup>ぼう</sup><sub>くじゅう</sub> 帯における環境保全活動と社有林を活用した体験型の環境教育

### くじゅう坊ガツル湿原<sub>くじゅう</sub> 帯における環境保全活動

くじゅう坊ガツル湿原は、大分県西部に位置し、周囲を九重連山に囲まれた高原性の湿原(約53ヘクタール)です。多様な地質・地形を反映した希少な生態系を有することなどから、2005年に国際的に重要な湿地の保全を目的とする「ラムサール条約」に登録されています。

地域環境との共生を目的に、2000年から16年間にわたり、環境省や竹田市、「九重の自然を守る会」などの地域の方々<sup>たけた</sup>と協働で、坊ガツル湿原の生態系を保全するための「野焼き活動」を実施しています。この取組みにより、2014年の「阿蘇くじゅう国立公園指定80周年記念式典」において、環境省九州地方環境事務所長表彰を受けました。

また、坊ガツル湿原の外部から持ち込まれた外来種(植物)の駆除活動や、貴重な自然環境を活用した次世代層への環境教育のほか、隣接する平治岳<sup>ひいじ</sup>(当社社有地)においても、近年衰退傾向にある「ミヤマキリシマ」の保護や登山道の整備活動を実施しています。

#### ■ 野焼き活動

かん木や雑草が茂ることを防ぎ、植物の新しい芽立ちを促すことで、湿原の環境を維持する野焼き活動を実施しています。

2015年度は、3月26日に実施し、当社社員を含む113名のボランティアの方々に参加いただきました。



野焼きの様子



炎が広がる様子

#### ■ 外来種(植物)駆除活動・次世代層への環境教育

湿原の生態系を維持するため、外来植物を手作業で除草しています。

2015年度は、8月4日に実施し、当社社員や家族を含む33名のボランティアの方々に参加いただきました。

また、作業終了後には、活動に参加した子どもたちを対象に自然観察会を開催しました。



外来種(植物)駆除の様子



自然観察会の様子

#### ■ ミヤマキリシマの保護・登山道整備活動

ミヤマキリシマ(大分県準絶滅危惧種)の植生に支障となる木(ノリウツギ等)を伐採し、生物多様性を保全するための活動を実施しています。

2015年度は、11月12日に実施し、当社社員やOBを含む94名のボランティアの方々に参加いただきました。



ミヤマキリシマ保護活動の様子



平治岳に咲くミヤマキリシマ(6月頃)

#### >> 私の環境アクション

春にピンクの<sup>じゅうたん</sup>絨毯が見られることを願って、活動に参加しました

立地本部 再生可能エネルギー・  
内燃力立地グループ

あまもと みき  
天本美希



2015年11月、くじゅう坊ガツル湿原帯における環境保全活動のボランティアに参加しました。当日は、地域の自然保護団体や環境省などの方々と一緒に、ミヤマキリシマの生育に支障となる木々の伐採を行いました。初めての経験でしたが、春に見られる一面のピンクの絨毯を想像しながら楽しく参加することができました。

2016年5月末に平治岳に登った時には、ミヤマキリシマがとても綺麗に咲き誇っていました。ボランティアの成果の表れだと思えば、とても嬉しかったです。これからもぜひこの活動に参加したいと思います。



作業後の集合写真

社外ステークホルダーのご意見

地域と連携した活動は、今後とても重要になると感じる。

▶ P 32～33 くじゅう坊ガツル湿原一帯における環境保全活動と社有林を活用した環境教育

## 社有林を活用した体験型の環境教育

当社は、大分県を中心に4,447ヘクタール(福岡ヤフオクドーム約630個分)の社有林を保有しています。この豊かな自然環境を活用し、グループ会社の九州林産(株)等と協力しながら、体験型の環境教育を行っています。

「林業体験」では、子どもたちが森を守るために必要な間伐<sup>かんぱつ</sup>や枝打ち、植樹などを体験し、「森林観察」では、大分県の「次世代の大分森林づくりモデル林」に指定された森の見学や、様々な植物を観察します。また、「木工教室」では、社有林の間伐材を活用し、えんぴつや木の黒板づくりに挑戦できるなど、子どもたちの環境への気づきにつながる様々なプログラムの提供に努めています。

### >>私の環境アクション

子どもたちの目の輝きを励みに、  
社有林の環境価値を一生懸命  
伝えています

九州林産(株)林業部  
森林経営グループ

さか い ひろし  
酒井 宏



九州林産(株)では、九州電力社有林にある山下池周辺(大分県由布市)に「環境活動の場」を整備し、九電みらい財団とともに、次世代層を中心とする環境学習に取り組んでいます。

実施にあたっては、社有林管理で培った環境保全技術と、都市公園等公共施設の運営・管理業務におけるイベント開催などで習得した「自然を学び楽しむノウハウ」を最大限に活用し、地球温暖化の現状や適正に管理された森林の働き(水源涵養機能・CO<sub>2</sub>抑制効果・防災機能など)に関する講話とともに、間伐体験や希少植物の自然観察会などのフィールドワークを組み合わせることを心掛けています。

参加した子供たちは、講話で学んだ事を実際に見て体験することで、楽しみながら理解を深めており、「また参加したい」との声もいただきました。

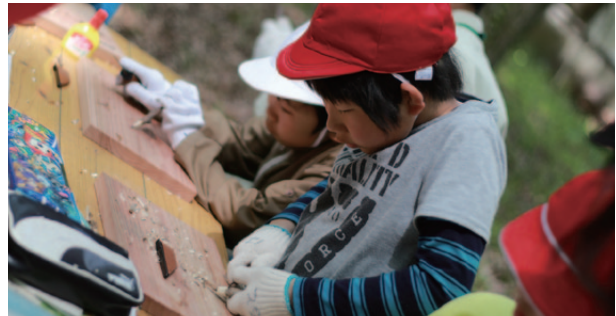
今後も本活動を通じて、社有林の環境価値や環境保全への理解促進に努めていきます。



「林業体験」の様子



「森林観察」の様子



「木工教室」の様子

## 「九電みらい財団」の設立

地域の皆さまの期待に応え、地域の課題解決に貢献する活動を更に充実させるため、「環境活動」と「次世代育成支援」を行う「九電みらい財団」を2016年5月に設立しました。

今後は、本財団が「くじゅう坊ガツル湿原一帯における環境保全活動」や「社有林を活用した体験型の環境教育」の主体となり、活動内容の充実を図るとともに、地域の諸団体の皆さまが実施する次世代育成支援活動に対して、助成を行っていくこととしています。

九電みらい財団のホームページは[こちら](#)

>>地球温暖化

用語集をご覧ください

## 2. 次世代層へのエネルギー・環境教育の展開

「九電みらいの学校」※の一環として、エネルギー・環境への関心を育む活動を、九州各地で展開しています。

※: エネルギー・環境教育をはじめ、文化・芸術・スポーツの分野において、様々な活動を行う次世代層支援プロジェクト。

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) > 九電みらいの学校

### エコ・マザーによる環境教育支援

子どもたちへの環境教育支援とご家庭における環境教育の担い手である保護者の皆さまへの環境情報提供を目的として、「エコ・マザー活動」を展開しています。

この活動は、九州各地で、地域のお母さま方が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境問題への「気づき」となる環境紙芝居の読み聞かせなどを行うことを通じ、小さなお子さまに環境に配慮することの大切さを伝える活動です。

2015年度は245回の活動を行い、約18,700名のお子さまや保護者の皆さまにご参加いただきました。

なお、これまでの13年間で、計3,100回以上実施し、約22万名の皆さまにご参加いただいています。



エコ・マザー活動の様子

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) > エコ・マザー活動

### 小・中学校等での出前授業

エネルギー・環境問題などについて、楽しみながら学んでもらうことを目的に、九州各地で出前授業を実施しています。2015年度は、小・中学校等で489回の出前授業を実施し、約19,700名の子どもたちとエネルギーや環境について考えました。

#### >> 私の環境アクション

### 「子どもたちと一緒に 学んでいます」

佐賀営業センター佐賀営業所  
営業運営グループ

はまぐち ゆかり  
濱口 由香梨



2015年8月、佐賀県・佐賀市が主催したイベント「地球に触れる夏休みin佐賀大和」において、小学生を対象とした出前授業を行い、私を含む営業所の若手社員5名が講師に初挑戦しました。

最初は不安でいっぱいでしたが、先輩方の力を借りながら、小学生にもわかりやすい説明方法や興味をもってもらう工夫など、充実した授業に向けて準備を進めました。

当日、私たちの説明や実験を通して、参加した子どもたちが楽しみながら環境への理解を深めてくれている姿を見て、とても嬉しく感じるとともに、自信につながりました。

現在、私はこの経験を活かし、佐賀エリアの女性社員で構成する『女性理解活動チーム』の一員として、省エネ講座や出前授業を実施しています。引き続き、参加していただいた

お客さまや子どもたちと「一緒に学んでいく」という意識を持って取り組みたいと思います。



出前授業の様子

用語集をご覧ください

>> エネルギー・環境教育

### 3. 九州ふるさとの森づくり

当社創立50周年を記念して2001年度から取り組んでいる九州ふるさとの森づくりでは、低炭素社会の実現や生物多様性の保全を目的に、九州各地で植樹や育林活動を展開してきました。

2015年度は、約1,700名の皆さまのご協力により、3か所でボランティアによる植樹・育林活動を実施しました。これまでの15年間で、およそ117万本を植樹し、延べ約15万人の方々にご参加いただきました。



「九電の森ひとよし」での植樹活動の様子

#### これまでの実績 (2001～2015年度)

実施箇所数	延べ642か所
植樹本数	約117万本
参加者数	延べ約15万人

#### 森を楽しみながら学ぶイベント「Play Forest」

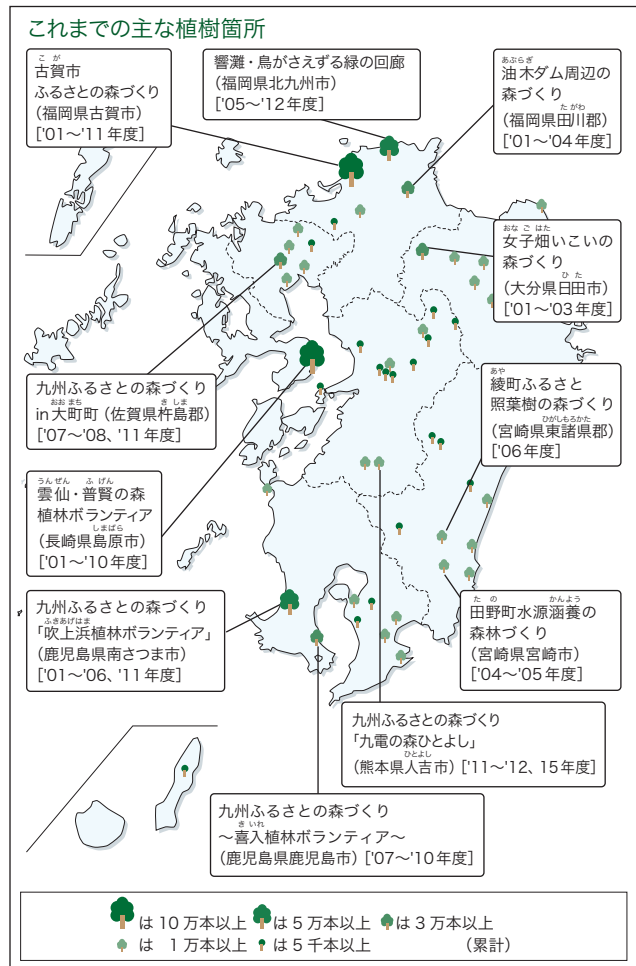
2016年度から「Play Forest」と題して、九州各地の森で「学ぶ」「守る」「楽しむ」の要素を織り込んだ環境活動を実施しています。2016年5月、油山市民の森(福岡市)において第1回を開催し、小学生とその家族、約550名に、森の講話や森林保全体験、木工品作りなどのワークショップを体験していただきました。今後も、環境について楽しみながら学ぶ機会を九州各地で提供することで、子どもたちに環境を大切にする心を育ててもらいたいと考えています。



森の講話の様子

#### 活動実績 (2015年度)

地区	計画名	参加者数(人)
植樹活動	北九州 響灘・鳥がさえずる緑の回廊 第11回植樹会	1,119
	福岡 森と海の再生交流事業植樹祭	191
	熊本 九州ふるさとの森づくり「九電の森ひとよし」	250
育林活動	北九州他 「響灘・鳥がさえずる緑の回廊(北九州市)」など 2か所で下草刈りを実施	186
合計	5か所(植樹3か所、育林活動2か所)	1,746



WEB 詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) ▶九州ふるさとの森づくり

## 4. 環境月間における取組み

毎年6月の1か月間は、「環境月間」として全国で様々な行事が実施されています。当社においても、環境コミュニケーションを推進するための諸行事を展開しており、2015年度は、「きゅうでん環境月間エコチャレンジ2015～つたえよう！ 私たちの思い、地域とともに～」をテーマに、省エネ・節電へのご協力のお願いや、次世代層向けの環境教育などを九州各地で実施しました。

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) ▶ 環境月間

### ■ 省エネ・節電(街頭キャンペーンほか)

街頭やお客さま対象の節電教室などにおいて、省エネ・節電へのご協力のお願いを83事業所で実施しました。また、当社の省エネへの取組みとして、22事業所でグリーンカーテンを設置しました。



節電街頭キャンペーンの様子(長崎支社)

### ■ 環境講演会

地球温暖化問題の動向と地域における環境への取組みをテーマに、NPO法人国際環境経済研究所理事・主席研究員の竹内純子氏ほか3名の講師による講演会を開催し、105名の方々に参加していただきました。



竹内氏による講演会の様子

### ■ 次世代層向けの環境教育

地域の小・中学校において、環境やエネルギーに関する出前授業や稚魚放流体験など、次世代層向けの環境教育を19事業所で実施しました。



稚魚放流体験の様子(耳川水力整備事務所ほか)

### >>私の環境アクション

#### 稚魚放流体験に参加して

耳川水力整備事務所 防災・環境グループ

たの うえ えい じ  
田上 英二



宮崎県を流れる「耳川」は、豊富な水に恵まれており、古くから水力発電が行われています。当事務所では、この耳川流域での浸水被害を低減するため、山須原ダム・西郷ダムの改造工事を行っています。

今回、私たちは、この耳川における環境保護活動の一環として、漁協の方々との協働により、地元の小学校や保育所の子どもたちと鮎などの稚魚放流体験を行いました。子どもたちは、バケツから飛び出す稚魚に驚きながらも、「早く大きくなってね」と放流した稚魚を嬉しそうに見送っていました。

苦労もありましたが、後日、保育所を訪問した時に「あっ！お魚のおじさん達だ」と手を振ってくれた園児たちを見て、この子どもたちが大きくなって「耳川はいい川だ」と言ってくれたらいいなと感じました。今後も耳川の環境保護活動に取り組んでいきたいと思ひます。